

小泉八雲とセツ ふたりの足跡をたどる デジタルスタンプラリー

期間 2025年 12月20日(土)～2026年 2月19日(木)



小泉八雲
(ラフカディオ・ハーン)



小泉セツ

現在放送中の連続テレビ小説「ばけばけ」は、
明治時代の作家・小泉八雲(ラフカディオ・ハーン)と
妻である小泉セツ夫妻がモデルの物語です。
1891年、第五高等中学校(現在の熊本大学の前身校)に八雲が
赴任してきたことを機に、ふたりは3年間、熊本市で暮らしました。
そんな小泉八雲・セツ夫妻とゆかりの深い熊本(+α)で、
彼らの足跡をたどるデジタルスタンプラリーを開催します。
ぜひ挑戦してみてください。

スタンプラリー参加方法

Step.1

二次元バーコードを
読み込み、LINE公式
アカウントと友だちになる

Step.2

指定スポットでLINE公式
アカウントからGPSを読み込み、
デジタルスタンプをGET!

Step.3

デジタルスタンプを
集めて、プレゼントに
応募!



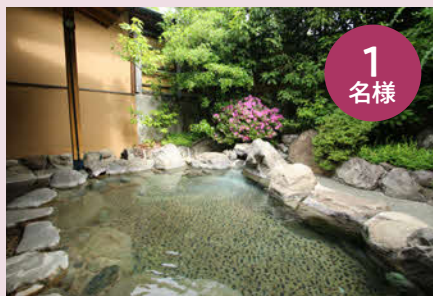
スタンプラリーの
参加はこちらから

スタンプを集めて素敵なプレゼントをゲット!

A賞

10ヶ所全部回って

植木温泉各旅館で利用できる
40,000円分の
宿泊補助券



1
名様

B賞

5ヶ所回って

熊本城を一望!「THE MOMENT」
アフタヌーンティー
ランチペア招待券



3
名様

C賞

3ヶ所回って

小泉八雲熊本旧居まですぐ!
鶴屋百貨店
1,000円分の商品券



20
名様





①小泉八雲 熊本旧居

熊本に来て最初に住んだ家。この家を借りるにあたって、ハーンは神棚を設け、毎朝拍手を打って礼拝し、人力車で学校に通っていました。日本を世界に紹介した「知られぬ日本の面影」「東の国から」などの著書はここでの生活から生み出されたのです。



②五高記念館

教鞭をとった第五高等学校（現在の熊本大学の前身校）の校舎として明治22年（1889年）に完成した建物です。通称赤門と呼ばれる正門などとともに国の重要文化財に指定。内部は復元教室と展示室があり、当時の面影を今に残します。



③小峯基地の石仏

熊本大学の裏、立田山の山頂にある小峯基地にひっそりと佇む「鼻かけ地藏」。八雲はことのほか気に入り、授業の合間やセツとの散歩などでよく行っていたそう。「石仏」（『東の国から』所収）の舞台とされています。

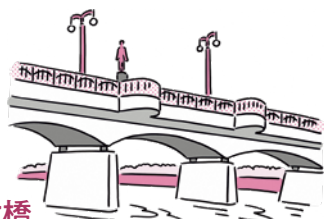
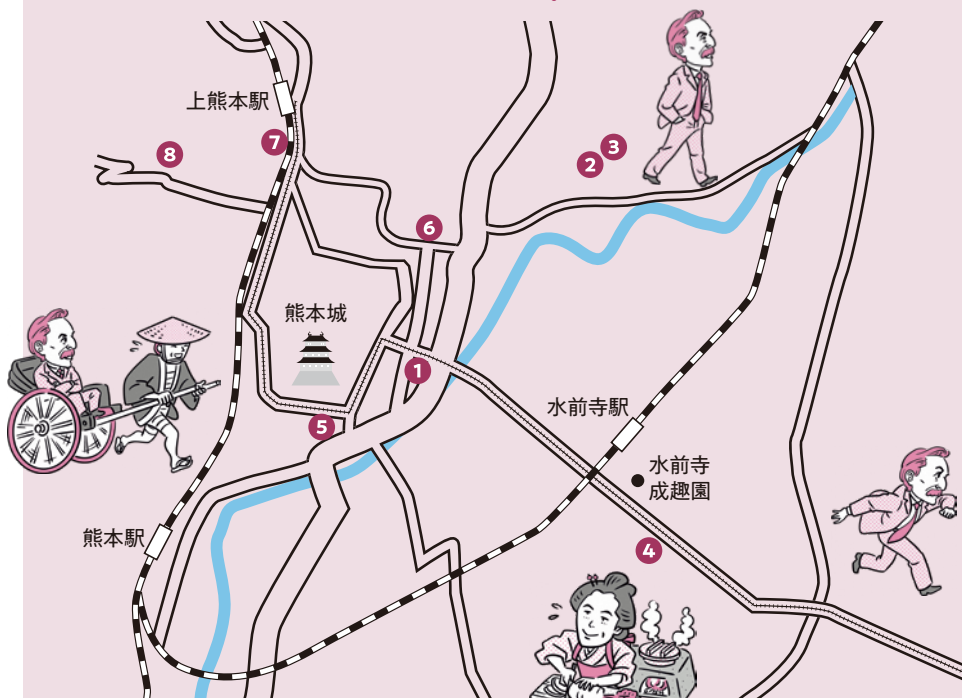


④くまもと文学・歴史館

小泉八雲をはじめとする熊本ゆかりの文学者の原稿や遺品などの近代文学資料などを展示しています。「くまもとの記憶」に触れられる貴重な場所です。



デジタルスタンプ取得スポット



⑤長六橋

薩軍による官軍士官の襲撃を目撃したものの、自らの命を見逃してくれた恩義のために、律儀に何年も口外しなかった老車夫を描いた作品「橋の上」（『日本雑誌』所収）の舞台といわれる橋です。西南戦争の時に橋の上で起こった出来事を元に、信義に厚い「日本人の美德」を表現しています。



⑦上熊本駅

日本的な情けといった「日本人の心」をとらえた作品「停車場にて」（『心』所収）の舞台。実際に起きた巡査殺しの事件を元に、福岡の刑務所から護送されてきた殺人犯と、殺された巡査の妻と子どもが対面したのが池田駅（現在の熊本駅）とされています。



⑥八雲通り

熊本の第二旧居。建物は現存しませんが、八雲通りとしてその名を残します。この坪井の家に熊本城内の宿舎から聞こえる兵士たちの歌声や、出征を控えた教え子が訪れたことなどから「願望成就」（『東の国から』所収）が描かれたと言われています。



⑧本妙寺

「願望成就」（『東の国から』所収）に登場する本妙寺は、日清戦争前夜、加藤清正のご加護により「本妙寺にお参りすると弾に当たらない」と信じられ、多くの軍人が参詣していました。



番外編



浦島屋（宇城市三角町）

長崎へ出かけた帰りに、三角の浦島屋に立ち寄り宿泊。この旅行の経緯は、浦島伝説の由来をめぐる論考と絡めて、後に名作「夏の日の夢」を生むきっかけとなります。現在、建物の2階に、築港当時と小泉八雲に関する資料を展示されています。



松江市の小泉八雲旧居

妻のセツとともに1891年6月に転居した屋敷から当時は内堀のむこうに城の天守閣を望むことができ、「日本の庭」の中で、この庭のことを詳しく描写しています。130年以上を経た今もなお、八雲が愛した庭は大切に保存・公開されています。

